学校番号	3021

令和２年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１，２年次
使用教科書	「高校生の美術１」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術は造形による表現です。表現したい時、形や色が素材・手段になります。
感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」、「鑑賞」など、美術の世界は、いろんな姿でみんなのすぐ傍に広がっています。感性に響くものに出会ったら、気軽にクロッキーをしてみよう。美術作品を見て他者の表現として受けとめる機会を持ってみよう。そうして、日々世の中に関心を持ち、感性を磨いておこう。自分の中に発想や表現の方法が入った引き出しを持つことが、みんなの美術に向き合う力になります。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 作品	ワークシート 下絵 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞の様子 鑑賞レポート ワークシート等

個々の作品の評価点が中心であるが、出席、作品制作状況、レポート等の状況も加味して、上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一年前期	美術とは何か	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 芸術授業の持つ意味、授業時の心構え 教科書を鑑賞し「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・人物クロッキー 生徒相互がモデルになってクロッキーをする。人物の骨格、重心、バランス、動勢などに注意する。毎授業開始時に行う。	○	○	○		a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、画面への入れ方などを工夫している。 c:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	私の見つけた風景	【表現】【絵画】 ・校内スケッチ 何気ない校内風景や空間のよさや美しさに気づき、感じ取ったことを表現する。 透視図法 立体感、遠近感の表現	○	○	○		a:スケッチに関心を持ち、積極的に取り組んでいる。 b:感性を働かせ、構図を工夫している。 c:鉛筆の特性を生かし、表現方法を工夫している。透視図法、明暗調子による立体感、遠近感の表現ができている。	制作の様子 作品
	油絵「静物画」	【表現】【絵画】 ・油絵具の特性を理解した上で、静物画に取り組む。 ・油絵の具の使い方 ・油絵の表現技法を学ぶ。 ・対象をよく観察し、感じ取ったものを感性豊かに表現する。	○	○	○		a:油絵具による表現に興味、関心を持ち、積極的にその特性を活かした表現に取り組んでいる。 b:対象をよく観察し、感じ取ったよさや美しさを基に、主題を生成して、構図を練っている。 c:形、立体感を表現でき、油絵の特性を生かし、さまざまな表現の工夫ができている。絵の具の重ね塗りを表現に活かせている。	制作の様子 作品
	鑑賞	【鑑賞】 ・展覧会、美術館に行き、感想をレポートにまとめる。				○	d:美術の多様な表現の特質や様式、主題や表現方法について理解を深めている。	レポート
	鑑賞	【鑑賞】 ・タイトルをつけよう ・お互いの絵画作品を鑑賞し、作者の意図、作品における表現の工夫などを汲み取り、相手の作品にタイトルをつけてみる。		○		○	b:他者の作品の良さを生かすような題名を考えることができている d:作者の意図や表現の工夫を理解し、美術作品のよさや美しさを味わっている。	鑑賞の様子 ワークシート

一年後期	凹版画石膏刷り	【版画】 ・凹版画石膏刷り にじみのある線によりできるドライポイント技法の表現の特徴を理解し、線表現と版を媒体とした表現の魅力に触れる ・下絵 ・版板へ転写 ・ニードルで彫る ・インクをつめる ・石膏を水で溶かし流し込む	○	○	○		a:ドライポイント技法の表現の特徴を理解し、美しさを感じ取って、技法を生かした表現をすることに関心を持ち、表現の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、形体、線の表現などを工夫して表現の構想を練っている。 c:凹版画の特性や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。	制作の様子 作品
	石のイミテーション	【表現】【立体】 ・石のイミテーションをつくろう ・張り子技法で自然の石の形を模りする。 ・自然の石をよく観察し、自然界の複雑な色調をとらえ、アクリル絵の具で着彩。	○	○	○		a:制作工程をよく理解し、自然の石の形や色彩に関心を持って観察し、とらえた美しさを表現することに取り組めている。 b:自然界にある複雑な色調を絵の具で作り出せている。 c:さまざまな着彩技法を工夫して使うことができ、根気よく丁寧に着彩できている。	制作の様子 作品
	教科展	【鑑賞】 学年末に美術・書道科展を行う。原則として全員、油絵自由課題、立方体デザイン作品を展示する。他選択生、保護者にも観覧を呼びかける。	○			○	a:作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、積極的に他者の表現を受けとめている。 d:作り手の意図や表現の工夫を理解し、美術作品のよさや美しさを味わっている。	ワークシート
二年前期	ぼくの・わたしのモアイ	【表現】【彫刻・デザイン】 ・5×5×7.5ｃｍのスタイロブロックからモアイ像をつくり、モアイの髪型・衣装などを各自でデザイン、石粉粘土で成形、アクリル絵の具で着彩 ・上記以外にどんな素材を用いてもよい。	○	○	○		a:制作に意欲的に取り組むことができている。 b:発想豊かに独創的なアイデアを考えている。 b:立体の制作手順を理解し、構想を練れている。 c:意図に応じて材料や用具を適切に使用し、特性を生かした表現の工夫ができている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品
二年後期	鉛筆デッサン	【表現】【絵画】 ・絵画表現の導入として形のとらえ方、陰影による立体感の表現などを、鉛筆を使って学習する。 ・鉛筆、練り消しゴム			○		c:形を比率や面の向き、陰影などの要素からとらえることを理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	ワークシート
	油絵「選択課題」	【表現】【絵画】 ・油絵「選択課題」 オリジナルとは何か。自分の個性を出すとはどういうことかを考えながら、自分の好みを前面に出した作品をつくる。この場合、実際に風景、人物、静物等を見て描写することもオリジナルであることを理解する。また自分で見付けた風景や物を構成して写真に撮って絵画化することもオリジナルである。	○	○	○		a:油絵具の特性を生かして表現することに関心をもち、表現に主体的に取り組もうとしている。 b:感性豊かに発想し、主題を生成して、構図を練っている。 c:形、立体感を表現できており、画材の特性を活かし、表現を工夫している。 絵の具の重ね塗りを表現に活かしている。	制作の様子 下絵 作品

	鑑賞	【鑑賞】 ・タイトルをつけよう ・お互いの絵画作品を鑑賞し、作者の意図、作品における表現の工夫などを汲み取り、相手の作品にタイトルをつけてみる。		○		○	b:他者の作品の良さを生かすような題名を考えることができている d:作者の意図や表現の工夫を理解し、美術作品のよさや美しさを味わっている。	鑑賞の様子 ワークシート
	教科展	【鑑賞】 後期末に美術・書道科展を行う。展示作業を協力して行う。原則として全員木彫作品を出品する。他選択者、保護者にも観覧を呼びかける。	○			○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、積極的に他者の表現を受けとめている。 d:作り手の意図や表現の工夫を理解し、美術作品のよさや美しさを味わっている。	ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（または重み付けを行う観点）について〇を付けている。

※　授業時間数や担当者の都合により、実施順序や内容に変更がある場合がある。